

はつかいち

News Bulletin

広報

H A T S U K A I C H I

No.1165

平成24年 (2012)

12月1日

毎月1日・15日発行

特集

木の香、

薫るまじりで

—特集 25〜17ページ—

宮島彫り (みやじまぼり)

木材の素地や木目を生かした写実的な彫りが特徴の宮島彫り。江戸時代後期、甲州（山梨県）の彫刻師、波木井昇斎（はぎい・しょうさい）によって伝えられた。昭和57年、杓子、ろくろ細工、角盆とともに経済産業大臣指定伝統的工芸品に指定。さまざまな彫刻刀を駆使し、「浮き彫り」、「しずめ彫り」、「すじ彫り」と3つの技法で仕上げていく。写真は「すじ彫り」といわれる技法。伝統工芸士の広川和男さんは、塗りの盆に下絵もなく、彫刻刀のみで描き出す。